

漁港漁場漁村整備促進議員連盟が総会



議会の様子

漁港漁場漁村整備促進議員連盟(会長、衛藤征士郎衆議院議員)は、2月12日正午から自民党本部で総会を開き、平成25年度の会務、会計報告を行うとともに、水産庁が平成26年度水産基盤整備概算決定及び平成25年度

水産関係補正予算の概要について説明した。水産、漁港、漁場関係団体関係者が傍聴するなか、副議長衛藤会長が、「我が国、水産業、漁村を取り巻く環境は燃油高騰

が、一段と厳しくなっているが、与党・自民党としては、昨年、燃油高騰対策の実現を図ったところ、我々としては、水産業を代りに支え、豊かに安心して暮らせる漁村を形成する

共事業では、水産業、漁村の35億円の補正予算と併せて2億円の計上され、水産業を核とした地域の活性化のために、国土強靱化、防災減災対策、衛生管理対策、水産環境整備による水産資源回復対策等の推進が喫緊の課題。特に、近い将来大規模地震津波の発生が懸念されていることから、東日本大震災の被害を教訓とした漁港、漁村等の防災・減災対策を早急に講ずる必要がある。

本日は、水産庁から平成26年度予算概算決定について説明いただき、平成26年度水産基盤整備予算は25年度比33.5%増、25年度補正予算を加えると実質約19%増となった。また、非公用事業では、青木一彦事務局長(参議院議員)が

動・ご視察に私共も同行させて頂き、現地事情をお聞かせ頂ければと思ってお聞き上げられ、最初に本川一善水産局長が、漁港漁場漁村整備の先生方には大変お世話になっておる。補正予算26年度当初予算は、平成26年度当初予算と比較して有り難い数字の予算を頂きました。これは11月28日に主計局長のところに先生方が沢山おいて頂き、ご要請頂きまして、ご支援をお願いしております。その中において、漁港、漁場というハード施設は大変重要な役割を果たすと思っております。そのなかで、今日お越しの関係団体の皆さんも加わって、プラン作りを進め、それを核に日本の漁業がよい方向に向かいていくよう努力していきたいと思っております。併せて、「ハマの応援団」と

設の機能診断や防波堤の着上りや崖壁の耐震化対策などの「国土強靱化、防災減災対策の推進」、特定種(一種漁港)との流通拠点漁港における食の安全と海外市場開拓に向けた、流通拠点漁港における衛生管理対策の推進、持続的な水産資源振興を図るための資源管理計画と連携した環境整備等の造成など漁港整備の着実な推進等について説明の後、意見交換を行い、出席議員から、漁場、干潟の実施地区の効果は出てきているのか、「マリンリゾート」構想として湧昇流漁場を整備したが事後検証が未実施。また、近年のコンクリートベタ打ち工法で整備した護岸は、陸からの栄養供給に役立っていた石積み護岸

第12回 園児書き甲子園開催



園児と高校生へのインタビューも行われた

園児書き甲子園実行委員会は、3月8日(土)午後1時より東京都品川の江戸東京博物館ホール

において、森・川・海の名人が教えてくれたものをテーマに第12回園児書き甲子園を開催した。フォーラムは、農林水産省、文部科学省、環境省による主催者挨拶で開会し、森の手紙、各人の代表である鈴木士朗さんと三浦英隆さんに、公益社団法人国土緑化推進機構の副理事長より名人の認定証が授与された。

その後、実行委員会委員長より、代表高校生への修了証書の授与、作文選考委員会委員長より、作家による講話、松本氏より優秀作品賞、優秀写真賞の授与が行われた。

表彰に引き続き、名人と取材した高校生2組へのインタビュー、園児書き甲子園のOBが主体となり今年度の高校生から聴取した、心に残った名人の言葉の紹介、塩野委員長、委員の木村尚氏、実行委員会委員長の塩澤一氏の3者による鼎談が行われた。

園児書き甲子園に参加した高校生の作品は、今後印刷物として取りまとめられることとなっている。なお、26年度も、第13回園児書き甲子園、海の名人の選定を実施する予定であるので、都道府県の漁港漁場協会において、名人の推薦に協力をお願いします。

来賓祝辞があった。園児書き甲子園は4部の構成で、9時から30分まで、100分まで参加者は講師9名の熱心な講演に聴き入った。

第4部の園児書き甲子園は、地域活性化を探る情報交換会。約100名が参加した。

第1部 水産施策セミナー
・演題：平成26年度水産基盤整備予算の概要
・水産庁計画課課長補佐(事業班担当) 横山純氏
・演題：浜の活力再生プラン
・水産庁防災漁村課施設管理指導官 三上清人氏
・演題：長崎県における水産施設推進状況について
・長崎県水産部中野田中部長

第2部 地域活動実践講座
・演題：北海道マリンビジョン(水産業を核とする地域の活性化)について
・国土交通省北海道開発局農林水産部部長 岡田行氏
・演題：「南舞地域マリンビジョン」の取組み
・北海道漁業協同組合 専務理事 伊藤康彦氏
・演題：水産庁水産課長 岡田行氏
・北海道漁業協同組合 専務理事 伊藤康彦氏
・北海道水産部水産課長 長瀬修市氏
・福岡県糸島漁業協同組合 専務理事 吉村寿敏氏
・長崎県水産部中野田中部長

第3部 地域活性化講演会
・講師(ハネラー)と参加者によるパネルディスカッション。テーマ：地域の活性化による地域の活性化を考えた。
・国土交通省北海道開発局農林水産部部長 岡田行氏
・国土交通省北海道開発局農林水産部部長 岡田行氏
・北海道漁業協同組合 専務理事 伊藤康彦氏
・北海道水産部水産課長 長瀬修市氏
・福岡県糸島漁業協同組合 専務理事 吉村寿敏氏
・長崎県水産部中野田中部長

第4部 園児書き甲子園
・園児書き甲子園の取組状況
・長崎県水産部中野田中部長

ながさきSUISAN ウィンタースクール開催

(一社)長崎県漁港漁場協会、会長 友成郁洋、松浦市長は、ながさきSUISAN ウィンタースクールを2月13日、長崎市内のホテルセント

に寄与するため、漁業の生産性などに関わる課題をテーマとして、関係者対象に実施したもので、約100名が参加した。

この勉強会は、本県水産業の発展と地域の活性化に寄与するため、漁業の生産性などに関わる課題をテーマとして、関係者対象に実施したもので、約100名が参加した。

自2月1日 至2月28日 2月24日(月) 青森県漁港漁場協会 副専務 葛西幸一氏、同協会業務課主任 成田靖子氏

第27回 福岡県市町水産関係幹部職員研修会



研修会の様子

研修会は、八井会長の開会挨拶に続き、研修会に入り、午後5時までの長時間であったが参加者は熱心に聴講していった。

(一社)福岡県漁港漁場協会(会長、八井康一)は、2月6日福岡市のホテルレガロ福岡において、水産庁(一財)漁港漁場漁村総合研究所、福岡県農林水産部水産同水産課課長、西崎孝之課長補佐、同漁村の振興(地域活性化)について、(一財)漁港漁場漁村総合研究所 中村克彦部長、福岡県の漁港漁場整備事業について、福岡県水産課課長 池田芳和氏